

調達管理番号・案件名

24a00965_全世界市場志向型農業振興(SHEP)各種研修にかかる情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2025年3月31日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第3条 調査の内容 (1)SHEP アプローチ研修におけるワークショップの演習ファシリテーター	アフリカ地域市場志向型農業振興(行政官)Aの日程は3日間ではなく2日間で正しいでしょうか。過去に対面形式のSHEP研修を2日間で実施したことはないと理解していますので念のため確認させて頂けますでしょうか。	失礼致しました。日程は三日間での開催となります。
2	10	第3条 調査の内容 (1)SHEP アプローチ研修におけるワークショップの演習ファシリテーター	タイ・ラオス第三国研修に関して、調査団が参加者に日当宿泊交通費を支払う場合、その単価をご教示頂けますでしょうか。また、空港送迎などレンタカー代や会場費の計上も必要となりますでしょうか。必要な場合、第三国研修はタイのバンコク市内で実施することを想定しておけば良いでしょうか。	本案件の調査団はタイ・ラオス第三国研修について、質問にあるような開催に係る費用(日当、宿泊費、交通費、レンタカー代、会場費等)を計上する必要はございません。開催地はナコーンパトム県にある、Kasetsart University, Kampaengsaen campusにて行われる予定です。
3	10	第3条 調査の内容 (1)SHEP アプローチ研修におけるワークショップの演習ファシリテーター	タイ・ラオス第三国研修に関して、タイ・ラオスそれぞれの参加者の人数を可能な範囲で目安としてご教示いただけますでしょうか。また、研修はすべて英語と書かれていますので、ラオス語の通訳は不要という理解でよろしいでしょうか。	参加する研修員はラオスからの15人を予定しております。タイ側からは講師として参加予定であるため研修員は想定しておりません。本研修に関しては基本的にタイ語で行われることを想定しており、日本語⇄タイ語の通訳を備える予定です。ラオス人研修員もタイ語での意思疎通が可能のため、ラオス語通訳は不要となります。公示では必要言語として英語と記載しておりますが、本第三国研修では日本語となります。なお、通訳備上はJICAで行います。
4	11	第3条 調査の内容 (2)モンゴルにおける現地調査	モンゴルのSHEP指導者向け研修に関して、調査団が参加者に日当宿泊費を支払う場合、その単価をご教示頂けますでしょうか。またこの研修はウランバートル市で実施することが想定されると思いますが、各県からの交通費単価も可能であればご教示頂けますでしょうか。また、空港送迎などレンタカー代や会場費の計上も必要となりますでしょうか。もし、上記の費用の計上が必要ない場合は、モンゴルでの研修はJICAモンゴル事務所の予算による実施となりますでしょうか。	本案件の調査団はモンゴルにおける現地調査について、質問にあるような開催に係る費用(日当、宿泊費、交通費、レンタカー代、会場費等)を計上する必要はございません。

5	11	第4条 報告書等	ワークプランの提出期限は2025年8月29日(金)で正しいでしょうか。また、この場合のワークプランは業務計画書と同じ位置づけと考えて良いでしょうか。	業務計画書と同じ位置付けとのお考えで結構でございます。
6	13	別紙	タイ・ラオス第三国研修の提案を求める内容に関して、「他ドナー連携における」と記載がありますが、その意味合いや背景をもう少し詳しくご教示いただけますでしょうか。	本案件はタイ側から要請があった、TICAが実施するSEP(Sufficiency Economy Philosophy)とSHEPの連携により実施します。

以上

